

新型コロナウイルス感染症罹患後症状（後遺症）調査結果【概要】

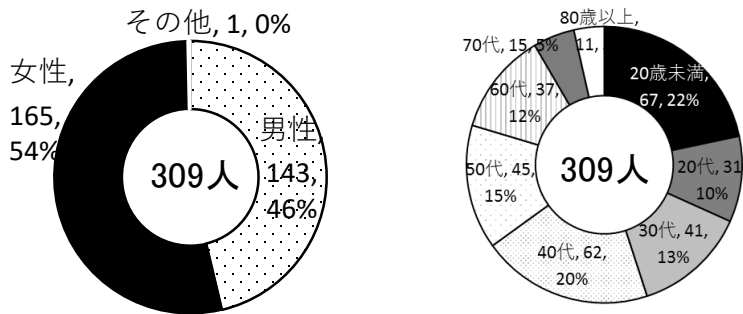
調査期間：令和4（2022）年5月26日～6月13日
 調査対象：調査① R4.1.1～1.31の間に新型コロナに感染し、新型コロナの療養を終えた方1,000人（年齢階級別に層化無作為抽出）
 調査② 医療機関* 診療・検査医療機関 662機関
 入院受入医療機関 31機関
 *一部重複含む

1 調査結果ポイント

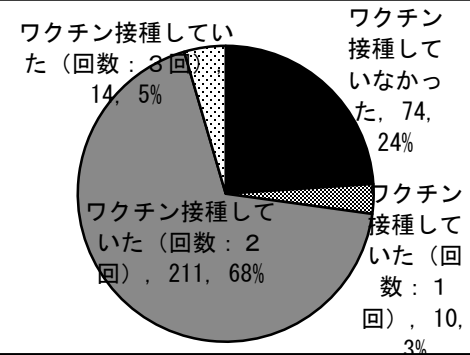
- 調査①・ 回答者309人のうち、3か月後に続いている症状があった方は36人（12%）であった。
 →令和4年1月に新型コロナに感染した集団における3か月後に続いている症状がある者の割合は8.9%と推定された。
- 3か月後に続いている症状があった方の割合は、ワクチン未接種の場合が21%、ワクチン接種している場合が14%であった。
 - 続いている症状があった方について、医療機関等に「相談・受診していない」が最も多く、その理由は、「受診する必要性をあまり感じなかった」が最も多かった。
- 調査②・ 回答医療機関の242施設の対応状況については、「一般外来で後遺症に関する診療を行っている」が82（34%）、「現在外来診療を行っておらず、今後行う予定はない」が129（53%）であった。
- 罹患後症状への対応の課題としては、「後遺症の病態について不明な点が多い」、「根本的な解決方法にあたる特効薬がないため対応が難しい」との回答が多かった。

2-1 療養を終えた方向け調査結果

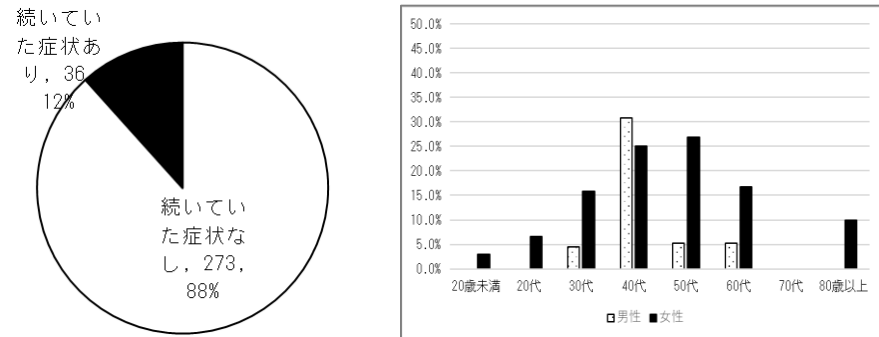
(1) 性別・年代



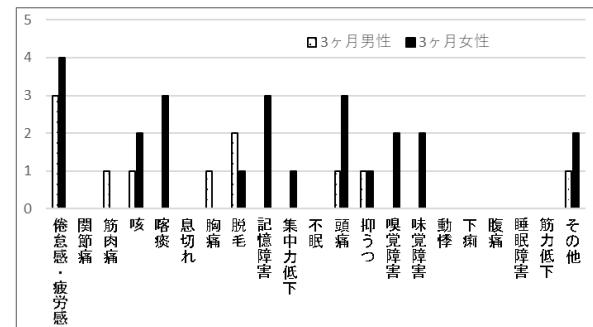
(2) ワクチン接種の状況



(3) 症状を有する方の割合（3ヶ月後）

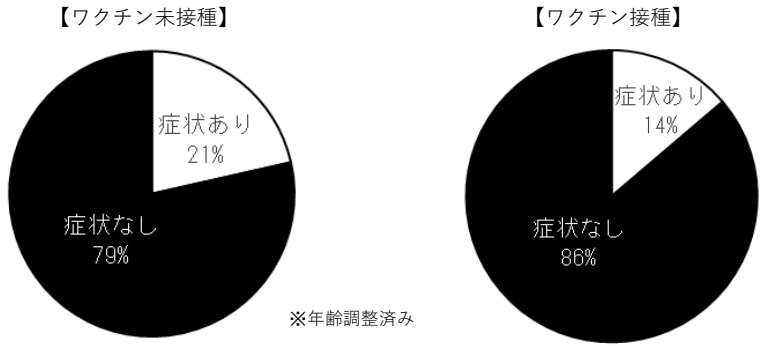


(4) 男女別症状の内容（3ヶ月後）

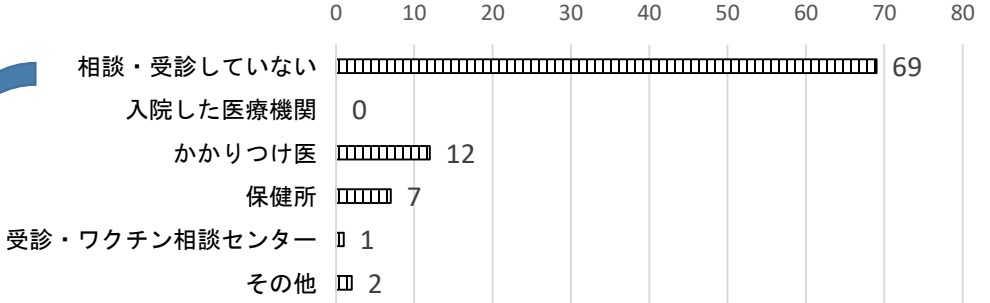


2-1 療養を終えた方向け調査結果

(5) ワクチン接種の有無による症状を有する方の割合（3ヶ月後）



(6) 症状に関する相談・受診状況

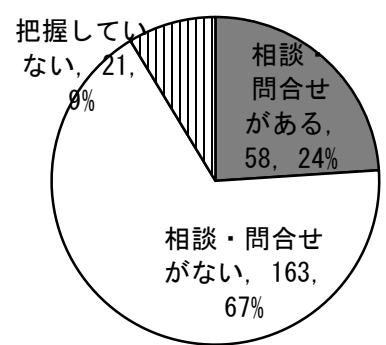


「相談・受診していない」理由

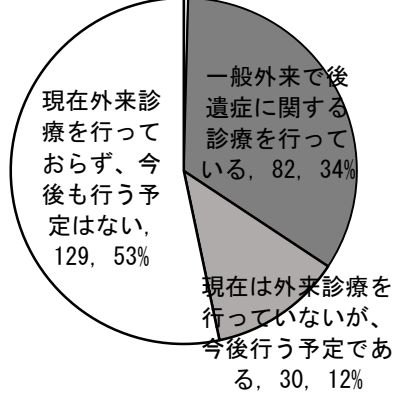


2-2 医療機関向け調査結果

(1) 相談・問合せ及び診療状況



専門外来を設置し、診療を行っている, 1, 1%



(2) 罹患後症状への対応の課題

